

< 報道関係者各位 >

2023年1月17日

一般社団法人 Design Week Kyoto 実行委員会

「DESIGN WEEK KYOTO 2023 in 丹波・京都・山城」開催

京都で唯一最大のモノづくり現場のイベント
— 2025年万博に向け、交流を軸にした新たな価値を創造するオープンサイトとは —

(一社) Design Week Kyoto 実行委員会 は、2023年2月16日(木)～19日(日)の4日間、京都府の丹波・京都・山城地域にて「DESIGN WEEK KYOTO 2023 in 丹波・京都・山城」を開催します。



< DESIGN WEEK KYOTO 2022 の様子 >



【開催概要】

名称： DESIGN WEEK KYOTO 2023 in 丹波・京都・山城

開催期間：2023年2月16日（木）～19日（日）の4日間

開催エリア：亀岡市、南丹市、京都市、宇治市、長岡京市

参加オープンサイト：48社（予定・別頁参照）

公式サイト：<https://designweek-kyoto.com/tamba-kyoto-yamashiro2023/>

主催：一般社団法人 Design Week Kyoto 実行委員会

プラチナパートナー：京都信用金庫

ゴールドパートナー：京都リサーチパーク

協力：宇治市／宇治商工会議所

後援：近畿経済産業局／京都府／京都市／亀岡市／長岡京市／南丹市

京都商工会議所／公益財団法人 京都産業21／公益財団法人 京都高度技術研究所（ASTEM）

一般社団法人 京都経済同友会／公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

メインコンテンツは世界中で注目を集める「オープンサイト」

近年、世界中のクリエイティブな街で「モノづくりの現場をオープンにする」オープンサイトイベントが開催されています。「DESIGN WEEK KYOTO」は、日本での先駆けとして2016年に第一回を開催。2023年で8回目を数えます。

現場に足を運び、作り手から製品や技術、その背景にある歴史や風土の話を聞けば、そのモノづくりや地域が一気に身近に感じられるようになります。作り手にとっても、初めて出会う業種・業界・年代も異なる人に向けて表現し、交流することで新たな発見や刺激につながります。



【期間中のプログラム紹介】モノづくりを知り、体感し、交流できる多彩な企画を実施

本年のイベントは、2025年の大阪・関西万博を見据え、国内外の皆様にお楽しみ頂けるよう様々な企画を開催予定です。国内外からゲストを迎えてトークイベントやワークショップ、ツアーなどを、リアル（現場）とオンラインの双方で実施します。

・現場を熟知したコーディネーターと巡る「ラーニング・ツアー」

イベント期間中、**オープンサイトを巡るオフィシャルツアー**を開催。訪問先の地域やモノづくりの現場の歴史やストーリーを知るコーディネーターと共に、複数のオープンサイトを効率よく回って、対象地域のモノづくりの現場をより深く楽しめます。

・世界中どこからでも参加可能な「オンライン訪問」

DWKオフィシャルチャンネルを通して、オープンサイト（一部）と参加者のみなさんをオンラインでつなぎ、世界中どこからでも参加できる、**距離を感じさせない「現場体験」**もお届けします。

・京都のものづくりをより深く知る「オフィシャルイベント」

海外からのゲストも交えた**トークセッションや各種展示**など、期間中さまざまなイベントを実施します。

<Umekoji MARKEt 全館での情報発信と展示も開催>

オープンサイト（一部）の紹介パネル、各社の製品やパンフレットを設置。DESIGN WEEK KYOTO 2023に関する情報収集をしてからオープンサイト巡りに出かけるのもおすすめ。オープンサイトから提供された廃材にオリジナル焼印を押したプチおみやげも準備予定。



それぞれのイベントの詳細は別添資料をご参照ください。またイベント最新情報は、公式ホームページの「DESIGN WEEK KYOTO 2023 in 丹波・京都・山城」特設ページでも随時更新中です。

公式ページ：<https://designweek-kyoto.com/tamba-kyoto-yamashiro2023/>

広報素材：<https://drive.google.com/drive/u/0/folders/1UV7Q8t067Ts1cr0lr61jZidfYoOuTe97>



DESIGN KYOTO (DK)とは？



DESIGN WEEK KYOTO 2023の母体となるのは「DESIGN KYOTO (DK)」。

京都府の地域の特徴や叡智が詰まったモノづくりの現場をオープンにすることで、モノを作る人、つかう人、伝える人が集い、業界・業種・年代・国籍など、あらゆる垣根を超えた、たくさんの新しい出会いやインスピレーションが生まれる「交流」を軸にしたコミュニティです。

2023年からは、例年2月のオープンサイトを中心としたイベントに加え、京都府全域に広がるオープンサイト実施事業社同士の交流イベント、国内外の団体・人との交流、ツアーなど、「地域の叡智」や「モノづくり」をテーマにした活動を、年間を通じて企画・開催していきます。

世界中が日本に注目するであろう2025年の「大阪・関西万博」、そしてその先の未来に、人々が交わり、視野を広げ、新たなアイデアやコラボレーションと共に地域を活性化させてゆくきっかけとなることを目指します。



京都府知事
西脇 隆俊 氏

2016年にスタートした「DESIGN WEEK KYOTO」は、2020年に開催エリアを宇治や亀岡に拡大、さらには2021年に丹後地域での「DESIGN WEEK TANGO」など、開催エリアだけでなく、参加するモノづくりの現場も、伝統産業から先端産業まで多種多様に広がってきました。

京都のものづくりの担い手と、そこを訪れる様々な職種・年齢の方との交流を通じて、新たなコラボレーションや新しいアイデアを生み出す機会を作ってくださっていることに、心から敬意を表します。DWKを通じて、業種や地域を越えた交流がさらに進み、新しい創造が京都から生まれるよう、力を合わせて取り組んでまいりたいと考えています。



京都信用金庫
理事長 榊田 隆之 氏

2015年、DWK代表の北林功さんと一緒にアメリカ・ポートランドでのDESIGN WEEK PORTLAND を訪れました。そこでは工房やスタジオなどのモノづくりの現場がオープンし、街全体が交流の場となることで人々が仲間を作り、共感してコラボレーションしていました。その循環が街の魅力になり、内外からの高い評価につながっているのだと実感しました。

私たちは、そんな自由で緩やかなネットワークを大切にしたいと考えています。中小企業がネットワークで繋がれば、大企業にも負けない。そして大企業とは全く違う奥深い何かができる。文化とはそういうものだと思っています。「温かい地域の未来」を想い描き、これからも DWK と一緒にアドベンチャーの旅をしていきたいと思っています。



京都リサーチパーク株式会社
地域開発部長 足立 毅 氏

DWKの魅力は、様々な交流の機会となっている所だと、DWKのパートナー企業として、また一ファンとして感じています。DWKの交流には大きく二つのステージがあります。ひとつは、2月のメインイベント開催までの交流。もうひとつが、イベント会期中の現場での交流です。

オープンサイト実施事業社が参加する開催前のワークショップでは、他社がどんな狙い・思いでDWKに参加しているのかといった情報交換から、自社の工房・工場等か？何を大切にしているのか？といった社内での意見交換などが活発に行われ、それがあってこそ、会期中の多様な来訪による化学反応が生まれているのだらうと想像しています。今後も一緒に進んで参りましょう。

【本件に関するお問合せ】

一般社団法人 Design Week Kyoto 実行委員会 事務局

担当：西村・大久保

京都市下京区朱雀宝蔵町34 Umekoji MARKEt 3F

電話：075-874-2718

E-mail：pr@designweek-kyoto.com

<https://designweek-kyoto.com/>

【別添資料①】

DESIGN WEEK KYOTO 2023 in 丹波・京都・山城“OPEN SITE”参加事業社（全48社 予定）

【丹波】	名称／業種	【京都】	名称／業種
南丹市	京・美山ゆば ゆう豆 ＜ゆば・豆乳の製造販売＞	京都市	浅田製瓦工場 ＜燻瓦製造販売、屋根＞
南丹市	ひよしフォレストリゾート山の家 ＜農業体験（黒豆・イチゴ）＞	京都市	アミタ ＜京象嵌＞
亀岡市	京すだれ川崎 ＜すだれ・自然素材を使った製品＞	京都市	アート・ラボ ＜ソリッド・パフューム＞
亀岡市	京都エンジョイファーム ＜野菜＞	京都市	井尾製作所 ＜油圧機器部品、産業機械部品、高精細画像用スキャナ装置等＞
亀岡市	松楽 ＜楽焼茶碗＞	京都市	川島織物セルコン ＜カーテン、カーペット、帯、緞帳、祭礼幕 他＞
亀岡市	全笑 ＜農産物、加工品＞	京都市	吉靴房 ＜革靴、革製品＞
亀岡市	丹山酒造 ＜清酒、あまざけ＞	京都市	京都市産業技術研究所 ＜研究開発・試験分析・研究所内の見学＞
亀岡市	南桑営農組合 ＜亀岡牛＞	京都市	小堀 ＜仏壇、仏具＞
亀岡市	西喜 ＜木製建具＞	京都市	誉勘商店 ＜正絹の金襴織物＞
亀岡市	古一漆工 ＜漆塗り作業＞	京都市	佐藤喜代松商店 ＜漆、漆製品、捺染・スクリーン製版資材＞
亀岡市	将大鍛刀場 ＜日本刀＞	京都市	香老舗 松栄堂 ＜お線香＞
亀岡市	三浦製材 ＜製材業・建設業 / e-BIOの販売・家の建築＞	京都市	京都社寺建築 匠弘堂 ＜神社・寺院の新築や修理修復、城郭建築の復元等＞
亀岡市	ユ・メ・ミファクトリー ＜モルタル造形及び建築＞	京都市	森林堂 ＜着物デザイン、テキスタイルインクジェットプリント＞
【山城】	名称／業種	京都市	田中直染料店 ＜染色材料小売販売＞
宇治市	ITAYA KOBO SECONDBASE ＜注文住宅＞	京都市	竹影堂 ＜金属工芸品＞
宇治市	くすおか義肢製作所 ＜コルセット・サポーター・インソールなど治療用の装具、藍染義足＞	京都市	陶あん 京焼・清水焼＞
宇治市	ナンゴー ＜金属全般精密機械加工品、治具・省力化装置の設計、製作＞	京都市	帷-TOBARI-縫製所 ＜袴式制服、アパレル衣料品、和装品など＞
宇治市	日双工業 ＜金属切削加工部品＞	京都市	中蔵 御池事務所 建物＞
宇治市	ヒガン絃楽器製作所 ＜コントラバス、チェロ＞	京都市	西村商店 ＜引箔＞
宇治市	フリーゾーン ＜ギターなど弦楽器のリペア＞	京都市	美研繊維 ＜テキスタイル生地への染色加工、風呂敷、手ぬぐい等＞
長岡京市	Shop & Gallery 竹生園 ＜竹木工製品(箸、カップ、茶道具) 素材:竹、木、寺社古材等＞	京都市	ビゴーレ・カタオカ ＜オリジナル自転車＞
		京都市	佛佛部（龍岸寺） ＜仏具＞
		京都市	便利堂 コロタイプ工房 ＜コロタイプ 印刷＞
		京都市	美濃利柳瀬商店 ＜提灯＞
		京都市	ミズケヤ ＜洋服生地きもの、帯＞
		京都市	もりさん ＜西陣織 金襴＞
		京都市	夢政所 ＜和菓子＞
		京都市	横山竹材店 TAKENOKO ＜竹＞

【別添資料②】

コーディネーターと現場をまわる「オープンサイト・ラーニングツアー」



2月16日（木）「美山かやぶきの里と丹波の豊かな自然、伝統を感じるツアー」

のどかな里山の風景と茅葺きの古民家が有名な「美山かやぶきの里」をはじめ、丹波の南丹は豊かな自然が多く残された地域。そんな場所で育まれた人や、食、伝統とじっくり向き合うツアー。

訪問先 京・美山ゆばゆう豆／美山かやぶきの里／ひよしフォレストリゾート／松楽／かめおか霧のテラス



2月17日（金）「瓦、竹、金属…京都に息づく伝統的な技術の深みを知るツアー」

京都には伝統的な工芸が多くありますが、京瓦や竹工芸、金属もこの土地で長く受け継がれてきたモノづくりのひとつ。受け継がれている技術と文化の深み、未来へ向けた進化を感じとることができます。

訪問先 浅田製瓦工場／長岡天満宮／高野竹工 本社工場／高野竹工 Shop & Gallery 竹生園／井尾製作所



2月18日（土）「亀岡が生み出す壮大なモノづくりのスケールを感じるツアー」

古くから京都の物流の要所であり、資材・食を支える地域として栄えてきた亀岡。そんな地域のモノづくりは、想像を超えるスケールのものばかり。漆に牛、モルタルと一見共通点のないサイトを巡って見えるものとは？

訪問先 請田神社対岸・トロッコ亀岡駅／古一漆工／南桑営農組合／ユ・メ・ミファクトリー／かめおか霧のテラス

■ツアー概要

料金：5000円（ランチ代・税込）

申し込み期限：各開催日の前日の正午まで

各日の行程詳細と申込フォーム→ <https://designweek-kyoto.com/news/4965/>



【別添資料③】
オフィシャルイベント

2月15日（水）

【トークセッション】ドイツと日本の視点から「あいだ」を考える -Dazwischen-（プレイベント）

様々な「あいだ」に関する活動を展開する2人のドイツ人建築家と、京都・龍岸寺住職で「ドローン来迎仏」など現代に求められる新たな仏教の形を模索する池口龍法さんが「あいだ」について語り合う。※通訳付き

- ・ゲスト：京都・龍岸寺住職 池口龍法氏
建築家 アンスカー・シュタウト氏、
建築家・デジタルトランスフォーメーション専門家 ハネス・マイヤー氏
- ・時間：18:30～20:00、懇親会20:00～21:00
- ・共催：ゲーテ・インスティトゥート大阪・京都／Goethe-Institut Osaka Kyoto

2月16日（木）

【トークセッション】梅小路クリエイティブタウンと京都のゲートウェイとしての可能性

「丹波口」と言われる梅小路公園や京都中央卸売市場などが立地するエリアは、京都と丹波・丹後地域のゲートウェイ的な位置づけの地域。京都府内全域の食やアート、ものづくりなど様々なプレイヤーが交わり、新たな文化を生み出していくクリエイティブタウンの可能性とこれまでとこれからの活動について語り合う。

- ・ゲスト：京都リサーチパーク株式会社 地域開発部長 足立 毅 氏
株式会社梅小路まちづくりラボ 代表取締役 藤崎 壮滋 氏
- ・時間：18:30～20:00、懇親会20:00～21:00

2月19日（日）

【トークセッション】「文化的景観」から世界における京都の役割を考える –イタリア「テリトリーオ」からの学び

地域に暮らす人々がその地域の風土に合った暮らしや美意識を育み、自然との調和を取って暮らしてきた結果、形成されてきた「文化的景観」。その意義と現代の社会における心の豊かさに着目し、都市と周辺の農村を一体的に捉えて地域社会のあり方を考え直してきたのがイタリアの「テリトリーオ」を始めとする概念と政策。京都の現代における役割を「テリトリーオ」の概念を通じて考える。

- ・ゲスト：安西 洋之 氏
ミラノ工科大学デザイン学部准教授 アレッサンドロ・ピアモンティ氏
- ・時間：15:30～17:00

【イベント】第1回 NANCAR AWARD 授賞式

DWKの合言葉「なんかしょー」から生まれたアワード「NANCAR AWARD」。オープンサイトメンバー事業者である「くすおか義肢製作所」と「ナンゴー」の両社で輝く社員にNANCAR AWARDを贈呈し、受賞者が実行するクラウドファンディングのプロジェクトがいよいよスタート。くすおか義肢製作所からは安田伸裕氏に、ナンゴーからは奥野英子氏に受賞プレゼンテーションを行い、これまでの取り組みと、クラウドファンディングにかける想い・意気込みを語る。

- ・時間：17:30～（1時間程度を予定）

■イベント概要

会場：京都リサーチパークGOCONC（西地区10号館1階）

※すべてのトークセッションは参加無料・事前予約制

イベント詳細と参加申し込みフォーム：<https://designweek-kyoto.com/news/4960/>

